

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

青森県八戸工大一高 樋口寿昭先生から

樋口さんのメールです（以下、いずれの方のメールも元のメールにはメールアドレスなどの個人情報が入っていましたが、この通信の性格上それは消去してあります。もしお知りになりたい方は大西までご連絡下さい。）*****

はじめまして。青森の樋口と申します。インターハイでは毎年、長野の松田先生にはたいへんお世話になっております。

今回の震災では、青森県は、三八沿岸部（八戸、三沢市）で津波の被害があったものの幸い被害は少なく、むしろ岩手、宮城では相当な被害です。実際に岩手・宮城県で連絡の取れない顧問の先生もお心配されます。

大会々場の岩木山と八甲田山は津軽地区（日本海側）ですので、インターハイへの影響は、少ないものと思われませんが、交通機関や諸々の状況を考えれば、？です。我々実行委員会では、開催に向けて準備を進めておりますが、本部（実行委員会）の決定に従うしかありません。一応、青森県の責任者は以下です。

部長 俵谷 久光 〈アドレス***@*****〉

委員長 蒔苗 徹也 〈アドレス***@*****〉

心配でしたら、問い合わせしてみてください。

余談ですが、インターハイのスタッフに以下のメールの内容で、現在「がんばろう東北」運動を呼びかけております。

—— がんばろう東北 ——

本校のユニフォームに以下のようなワッペンを今年つけます。

http://tolnado-sonic.at.webry.info/201005/article_13.html

ご存じでしょうか？阪神淡路大震災のときにオリックス（イチローや田口など）がユニフォームにつけたワッペンです。がんばろうKOB Eを合言葉に一致団結しリーグ優勝を果たしましたね。

2011北東北総体で、我々甚大な被害を受けた被災者の皆さんに勇気と元気をあたえようと、勝手に「がんばろうTOHOKU」というワッペンを作成しました。ほしい方がおりましたら、必要枚数をお知らせいただければ、1枚1000円でお分けします。実際は600円ですが、400円は義援金にしたいと考えております。我々も役員シャツにつけてがんばりませんか？私は絶対つけます。

もし賛同していただけるのであれば、ご連絡ください。

八戸工大一高校 樋口 寿昭 (HIGUCHI Toshiaki)

北海道高体連OB 小野倫夫先生から

おはようございます。昨夜のメール確認しました。当方の被害はありません。北海道は海岸（太平洋側）が津波で結構浸水、冠水での被害があるようです。札幌も特に被害はありませんが、私の娘夫婦は仙台市内で心配しましたが電気水道がダメでしたが建物

はタンスが倒れたくらいで済んだようです。今回の震災は多方面にかなりの影響を与えています。道岳連で八甲田へのスキーツアー（20数名参加）も中止にしました。お尋ねの望月さんですがリタイヤ後札幌に再任で何年か来てますが、自宅は旭川、多分、今は自宅だと思います。

望月 真 〒078-8312 旭川市***** TEL 0166-**-*****

新潟県央工業高校 吉田光二先生から

かわら版での、東北地区の皆さんの消息状況ありがとうございます。募金のレポート、お礼をOB会HPに載せました。(<http://mtob.sakura.ne.jp/>) ご紹介ください。

宮城・千葉さん：家も本人も無事。岩手・内山さん：家はダメだが本人は無事。岩手・岩澤さん：家も本人も無事。青森の俵谷さん：携帯で通話、家も自分も無事。IHの山も異常なし。2011.03.20現在です。

編者注) 以下のHPには、県央工業のみなさんが郵便局から宮崎県に募金を送る様子が報告されています。(<http://www.kenoh.com/2011/03/18kenoh.html>) ご覧下さい。

秋田県高体連OB 今野昌雄先生から

大西先生、ご多忙のところメールでのお見舞いありがとうございます。私のところはお陰さまで、何とかやっています。ご安心ください。今日の夕方、開いたガソリンスタンドには数十台の車が列をつくって並んでいました。お店の品物にも影響大。

依頼ありました柘植さんのメールアドレスは年賀はがきにはついてなく、残念ながら今すぐは私は分かりません。018-**-****が彼の電話番号です。岳人での学校紹介で、充実した部活動中ですね。お身体に気をつけて、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

長野の地震も大丈夫でしょうね。まずは用件のみで失礼いたします。今野昌雄

編集子のひとごと

かわらばんを送ったところ、大勢の方が情報を寄せて下さいました。

吉田さんは直接知っておられる方々に電話連絡して安否確認をし、その結果を逐一教えてくださいました。今なお、災害現場では避難しておられる人々の映像が毎日流されていますが、一方で復興に向けての動きも少しずつ見え始めているようにも感じます。その意味で、樋口先生の提唱されている「がんばろう東北」運動もぜひ後押しできればいいなと思います。小野先生のいうように、北海道でも海岸（太平洋側）が津波で結構浸水、冠水での被害があるようです。私の知り合いが襟裳岬に住んでいるのですが、その彼からは港は3.5mの津波に襲われ一時冠水したものの避難までの時間的な余裕があったため、人的な被害は避けられたと連絡がありました。秋田でも物不足が深刻という今野先生のメール。本当に必要な地域での物資不足が深刻なようです。実際には無関係な私の身の回りでもガソリンやカップ麺などが一時的に品薄になって、東北のみなさんにご迷惑をおかけしています。一人一人が自分のことだけを考えるのではなく、もう少し冷静に行動すべきだと思っています。そんな中で、一向に好転の兆しがみられないばかりか、深刻さと切迫感を増している福島原発の事故による2次的な災害がますます危惧されます。（大西 記）